

岡山県地域医療支援センター 年次報告書

2020 年 1 月 ～ 12 月

Center for medical cooperation, human resources placement and career promotion of Okayama Prefecture



目次

I. ごあいさつ.....	2
II. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援.....	5
1. 第8回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ（中止） 「地域医療を担う医師を地域で育てるために・地域枠卒業医師の勤務病院の選定方法について」（WEB 配信）.....	5
2. 地域枠支援会議.....	8
3. 地域枠卒業医師との面談.....	8
4. 地域枠学生との個別面談・希望進路ヒアリング.....	8
III. 地域の医療機関への地域枠卒業医師の配置.....	9
1. 前期配置候補病院の選定条件（2021年4月配置用）.....	10
2. 後期配置候補病院の選定条件（2021年4月配置用）.....	10
3. 勤務病院決定までの流れ.....	11
IV. 地域医療を支える未来の医療人の育成・確保支援.....	12
1. 地域枠学生・自治医科大学合同オンラインセミナー.....	12
2. 地域枠ミーティング.....	13
3. 自治医科大学・岡山大学入試.....	13
4. 岡山県医師養成確保奨学資金制度に関する説明会.....	13
5. 岡山県知事と地域枠学生・自治医科大学との懇談会（中止）.....	13
6. 第7回 岡山県臨床研修連絡協議会.....	13
V. 地域枠卒業医師の着任環境の整備に関する助言・支援.....	14
1. 地域の医療機関の訪問.....	14
VI. 岡山大学医療人キャリアセンター MUSCAT との協力.....	15
1. シミュレーショントレーニング in 新見.....	15
2. 第11回 岡山 MUSCAT フォーラム『天職と向き合う』.....	15
VII. 連携協力・情報発信.....	16
1. 岡山県医療対策協議会への出席.....	16
2. シンポジウムへの参加.....	16
3. 岡山大学 教養教育『生活の中の医療』（1年生）.....	16
4. ホームページ・facebook による情報発信.....	17
5. 第10回 中四国地域医療フォーラムの開催.....	17
VIII. 定例会の開催.....	19

1. ごあいさつ

岡山県地域医療支援センター長として ～ 2012-2020 の 8 年間～

岡山済生会総合病院
名誉院長 内科診療顧問 糸島 達也
(岡山県地域医療支援センター 前センター長)



2004 年に新医師臨床研修制度が導入されたのを契機として、大都市への医師の集中が起こり、大学の教室から派遣されていた医師が教室にまとまって呼び戻されたことと、1950 年前後に医師になった医学部と医科専門学校卒業医師が多数引退した 2000 年前後の時期が重なったために地方の中小病院の医師不足が一気に明らかになりました。それに対応するために、2009 年に地域医療再生基金が各県に作られ、2010 年に岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座を設立、片岡仁美先生と佐藤勝先生が教授に就任し、地域枠学生を担当されました。(2020 年 4 月、片岡仁美先生(岡山大学病院ダイバーシティ推進センター教授)に代わり、小川弘子先生が教授に就任されました。)

2012 年に岡山県庁の保健福祉部医療推進課の一隅に岡山県地域医療支援センターができ、センター長に就任しました。そこでの 8 年間に振り返りました。

1. 県庁はデータの宝庫と感じました。しかし、人はくるくると 1～3 年で交代するのでベテランが育ちにくいと感じました。
2. 岡山県地域医療支援センターには優秀な人材が地域医療担当として次々と来て助けてくれました。課長、参事にも助けていただきました。今後も則安先生が参与としておられると安心です。よろしくお願いいたします。
3. 臨時職員も能力の高い条件で募集すると、県庁なら能力の高い人が来てくれました。
4. 私が岡山大学出身であったので、岡山大学の皆様も協力していただけたし、岡山県医師会の理事をしていたこと、岡山大学第一内科の同門でしたので、県内の病院を訪問しても知り合いが多かったことが有利に働きました。多くの人に感謝いたします。
5. 岡山済生会がへき地医療支援機構を担当していましたので、自治医科大学出身の先生方との連携も容易でした。
6. 岡山大学の地域医療人材育成講座の片岡仁美教授と佐藤勝教授とは一緒にできて楽しかったです。岡山県地域医療支援センターの岡山大学支部はずっと岩瀬敏秀先生が全精力を注いで指導してくださり、また今後の地域枠学生と地域枠卒業医師の良きパトロンとなっていたいただけると信じています。
7. 岡山県医師会の石川紘会長と松岡正春会長には大変お世話になりました。
8. NPO 法人岡山医師研修支援機構では伊野英男先生、忠田正樹先生にお世話になりました。忠田先生とは 2 年間に亘って岡山県地域医療支援センターで一緒に仕事をし、その後、後任をお願いできて安心しています。
9. 今後 10 年して第一次ベビーブーマーの世代が僅かになると、医療対象が 60% まで下がりますが、第二次ベビーブーマーで一時 78% に増えて、その後 40% に向かって漸減します。その途中で医師過剰が起こるでしょうか。地域枠卒業医師が努力して、良き信頼される医師になって活躍してくれることを期待します。NPO の地域医療部会の病院長、理事長の先生方よろしくお願いいたします。
10. 最後に難題に答え続けて、地域枠医師の研修先病院選定のため、厚生労働省等の統計資料、市町村・病院への調査データや岡山県医療機能情報を用いた客観的な統計データを出し続けてくださった宇野みか様、下山みどり様、秋田政子様にお礼を申し上げます。今までの経過はホームページをご参照いただけると幸いです。

<https://chiikiiryokayama.wixsite.com/centerokayama>

11. 毎週月曜日に県庁に通った楽しい 8 年間でした。ありがとうございました。



ごあいさつ

岡山県地域医療支援センター センター長 忠田 正樹



2020年の当センターの年次報告書が出来上がりました。私がセンター長を前のセンター長である糸島先生から引き継いだのが、2020年の4月ですので、まさに新型コロナウイルス感染症の第1回目の緊急事態宣言の頃でした。そしてその後もコロナ禍の影響で、本来行われる予定だった当センターの行事の多くが開催中止になった一方、オンラインという新しい形式の研修会や会議を経験した一年でした。

当センターの事業は、この年次報告書やセンターのホームページに詳しく記載している通りですが、主な役割は、県内の医療資源の地域偏在を少しでも解消するために、医師不足地域に対して医師の適切な配置を図るべく、県が養成している岡山大学医学部の地域枠卒業医師や広島大学医学部のふるさと卒業医師の勤務先病院を決定することです。

その決定のための方策として、これは全国的にも稀だと思いますが先代のセンター長はじめスタッフの思案検討の結果、県は医師配置に関して人事権を持たず、各医師と複数の配置希望病院との間で勤務先を決定するというマッチング方式を採用しています。具体的には、事前の準備として県内のそれぞれの地域の医師不足の状況や地域の各病院の実態をアンケートなどによって調査分析し、それらの情報を基に、医師を配置すべき地域とその地域の配置先候補病院を複数選定し、勤務予定の医師に提示の上、お互いに面接を行って希望の勤務先を決定するというシステムです。

当センターは2012年2月に発足しましたが、地域枠学生が卒業して初期研修を終え、初めて義務年限前期の地域勤務を開始した2017年4月から、このマッチング方式で勤務先を決定しています。調査を基に現地の状況に見合った地域枠医師の配置は、公平性客観性という面でもおおむねうまく機能しているものと考えていますが、さらに勤務した医師や勤務先病院からの評価などをヒアリングしつつ、今後も双方の希望に応じてゆきたいと考えています。

加えて、今年2021年4月からは初めての義務年限後期の配置が始まります。これも同じくマッチング方式で決定しました。今回3名の医師がそれぞれの地域でこれまでの知識と経験を活かし、存分に活躍してくれることを大いに期待しています。

さて、当センターにはもう一つ大きな役割があります。それは地域枠学生、自治医大学生ならびにそれぞれの卒業医師に対する学習支援、専門研修支援、キャリア形成支援です。もちろんこれは当センターが単独でできるものではなく、岡山大学医学部の地域医療人材育成講座、大学の各医局、地域枠卒業医師等の勤務先病院、NPO法人岡山医師研修支援機構の地域医療部会、岡山県へき地医療支援機構、岡山県医師会、岡山大学病院ダイバーシティ推進本部など、皆様のご指導やご協力が不可欠ですので、改めて御礼申し上げ、ひきつづきご支援のほどをよろしくお願いいたします。

また、当センターの年一回の行事に、今回で第8回になる「地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」があります。これは地域の各自治体の代表者や各病院長、大学教職員、県関係者および当該医師の代表などによる研修会ですが、今回はコロナ禍のため集合による開催が不可能にて中止せざるを得ませんでした。

もうひとつ、これも毎年恒例になっている「地域枠学生・自治医大学生合同セミナー」があります。夏季休暇中に一泊二日の合宿形式での勉強会を兼ねた懇親会で、学生たちも我々も楽しみにしていたところでしたが、これも残念ながら合宿・懇親会は断念し、勉強会だけを初めてのオンライン方式で開催しました。将来お互い地域医療に貢献する仲間として、少しでも顔見知りになってもらおうという試みです。オンラインでの開催には、当センター岡大支部の岩瀬医師に大変尽力いただきました。次回には、何とか合宿が可能な社会環境であって欲しいと願っています。

ところで、2020年を振り返ると、個人的には、地域枠という制度の問題点が見えてきた年でした。地域枠の趣旨は、言うまでもなく県内の医師不足地域で医療に従事する強い意志を持つ高校卒業生等を対象に、県が大学医学部の中に別枠（現行は学校推薦型選抜入試）を設けて奨学資金を貸与しつつ、少なくとも義務年限（およそ9年間）は地域医療に貢献する医師を養成するというものです。しかし必ずしも理想通りに行かない面もみられ、医育機関と共に今後取り組むべき課題と考えています。

コロナ禍が早く終息することを祈りつつ、これからも皆様のご協力ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部 専任担当医師 岩瀬 敏秀



岡山県地域医療支援センター岡山大学支部は 2012（平成 24）年 4 月に設立され、もうすぐ 10 年目を迎えます。地域勤務を経験した地域卒卒業医師は 13 名と徐々に数を増し、それぞれの地域を支えています。2020 年は COVID-19 の影響で、地域医療教育だけでなく地域卒卒業医師のキャリア支援も例年通りとはいかないところがありました。実習の時期を含めたカリキュラムは大幅に変更され、実習施設は岡山県内に限定となり、講義はオンライン中心と変わりました。岡山大学の地域卒学生との面談すらオンラインとなり、広島大学のふるさと卒学生とは対面で会うことは出来ませんでした。地域卒卒業医師の週 1 日の研修日も、PPE（個人用防護具）不足から手術に入れなかったり、移動を控えたりといった時期もありました。世の中は大きく変化しましたが、できる支援を続けていきたいと考えています。オンラインの利点を活かし、離れていても参加しやすい、つながりを維持できる企画を実施していく予定です。今後ともご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



II. 地域枠卒業医師のキャリア形成支援

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、恒例の大きな行事はすべて中止となりましたが、WEB 会議システムやホームページを利用するなどして、これまでの流れを止める事の無いようできる形で事業を進めました。会議や面談なども感染状況に応じて、WEB 会議システム等を利用して行いました。

1. 第8回 地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ（中止）

地域枠制度について周知させていただくために、岡山県地域医療支援センターのホームページで動画「地域医療を担う医師を地域で育てるために」・「地域枠卒業医師の勤務病院の選定方法について」を配信しました。2021年1月からはPDFでご覧いただくことが出来ます。

地域医療を担う医師を地域で育てるために

岡山県地域医療支援センター
2020/9/15

8月	2日（開催予定中止）
9月	15日 動画配信（～12月末日）



1



挨拶

岡山県地域医療支援センター
センター長 忠田正樹

地域医療に関わる大学関係者、行政、病院長並びに地域枠医師の皆さまには、平素より当センターの事業にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、2013年から毎年夏に行われてきた『地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ』は、昨今のコロナ禍の影響で、今回はやむなく中止とさせていただきますこととなりました。どうかご了承いただきたく存じます。

2

地域枠卒業医師の勤務病院の選定方法について

岡山県地域医療支援センター岡山大学支部
岩瀬 敏秀
2020/9/15

4

ただ、皆様が一堂に会することはかなわずとも、オンライン配信にて「地域枠卒業医師の勤務病院選定方法」について、当センター岡山大学支部の岩瀬医師より配置ルール等の説明をいたします。また、地域枠制度についても若干資料を提示しますので、どうぞお時間のある時にゆっくりとご覧ください。

なお、今年度から糸島センター長に変わり、わたくし、忠田（ちゅうだ）が担当いたします。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

3

本日も話すること

- ・ 地域枠制度のおさらい
- ・ 医療対策協議会で検討された方針
- ・ 前期配置と後期配置の考え方
- ・ 勤務病院の選定方法

5

地域枠制度のおさらい

- 地域枠制度の概要
地域枠学生には、**県から奨学金が貸与**される。
一定期間、知事の指定する医療機関で勤務すれば、返還が免除される。
- 一定期間は何年？
通常は**9年間**（貸与年数の1.5倍の期間）。
初期研修と選択研修の内の2年間を含むため、**実質的には5年間。2箇所以上での勤務**を想定。

6

医療対策協議会での検討

- 勤務地域
2021年4月配置では、**県北**の状況を勘案した上で、**県南**にも可能な範囲で配置する方針が引き続き了承された。
- 診療科偏在対策（2018年度～）
産婦人科は、初期臨床研修修了後、速やかに専門医資格を取得し、当該資格に係る医師不足地域にて勤務する。

10

地域枠制度のおさらい

- 地域枠学生・医師は何名？
学生42名（女性：17名）、**医師34名**（女性：12名）。
2023年から10年間、20名以上が地域勤務となる見込。
（女性が占める割合は3割～5割程度で変動）



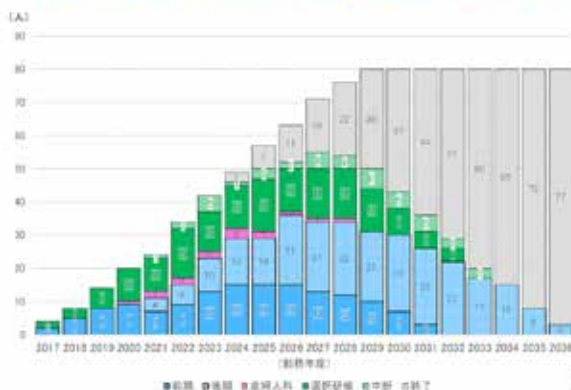
7

医療対策協議会での検討

- 後期配置（卒後概ね7年目以降）
前期配置同様、**県北**の状況を勘案した上で、**県南**にも可能な範囲で配置する方針である。
- ただし、勤務候補病院の選定にあたっては、**病院の医師不足により重点を置くこと**、また、**配置希望病院の要望と地域枠卒業医師の専門性が一致する場合は配慮することとした**。

11

初期研修後の地域枠卒業医師の予想人数



8

前期配置と後期配置の考え方

- 前期配置（卒後3～5年目）
教育指導体制がなるべく整っており、地域において重要な役割を担う病院で、**主に総合医としての働きが望まれる**。
- 後期配置（卒後概ね7年目以降）
救急等の**需要**によく応えている病院で、**時に専門性を発揮した働きが望まれる**。

12

地域枠制度のおさらい

- 身分・待遇
地域枠医師の身分、処遇は、病院職員とし、病院の水準での給与とする。入局は自由。
→ **県は人事権を持たない**。
- マッチング
地域枠医師と地域病院との**マッチング**で勤務病院は決定される。（産婦人科除く）

9

勤務候補病院の選定方法

- 前期配置・後期配置ともに地域勤務する医師の**1.5倍程度**を候補病院とする。
- 「地域の医師不足」の評価・調査結果を基に、前期配置・後期配置の**圏域毎の候補病院数**をセンターが設定する。
- 病院・市町村の回答した調査結果に基づいて圏域毎にランキングを作成し、前期配置、後期配置の順に候補病院を選定する。

13

前期配置の配点案（重み付け）

①教育指導体制	23点
②地域で果たしている役割	19点
③待遇・勤務環境	17点
④救急車の受入状況	14点
⑤新専門医制度への取組状況	12点
⑥地域の受入体制	8点
⑦経営状況	7点
合計	100点

14

2020年4月時点の配置病院



17

後期配置の配点案（重み付け）

①救急車の受入状況	30点
②患者数・日直当直の回数	20点
③教育指導体制	15点
④需要と医師の専門性の一致	15点
⑤待遇・勤務環境	10点
⑥地域貢献	5点
⑦他薦	5点
合計	100点

15

まとめ

- 2023年以降10年間は、**20名以上**の地域枠医師が地域の医療機関に配置される。
但し、**2029年以降は減少する**。定着に期待。
- 県は人事権を持っていない。選定方法の上位病院と地域枠医師の希望とを**マッチング**する。
- 地域勤務する人数**によって、圏域ごとの候補病院数は変動する。
- 後期配置の選定では、**医師不足**により重点を置き、地域の需要と専門性の一致具合も評価する。

18

マッチングスケジュール

- 9月末に地域枠医師に地域勤務の意思を確認。
- 10月に候補病院を決定、通知。
- 10月11日に合同候補病院説明会を実施。
- 12月中旬にマッチングを実施。
- 12月下旬にマッチング結果を通知。

16

ご意見・ご質問

- お問合せフォーム
岡山県地域医療支援センターのウェブサイト内の「ご意見・ご質問」からご連絡ください。

ご視聴ありがとうございました。

19



2. 地域枠支援会議

岡山県地域医療支援センター、岡山大学大学院地域医療人材育成講座、岡山大学病院ダイバーシティ推進センター、県医療推進課の関係者が一堂に会する「地域枠支援会議」を定期的を開催し、地域枠制度の望ましい運用方法やそれぞれの取組状況等について協議しました。

1月	21日（第44回）	7月	21日（第48回）
		8月	18日（第49回）
3月	10日（第45回）	9月	23日（第50回）
		10月	20日（第51回）
5月	13日（第46回）	11月	21日（第52回）
6月	23日（第47回）	12月	22日（第53回）



3. 地域枠卒業医師との面談

地域勤務・選択研修（専門医研修）・初期臨床研修をしている地域枠卒業医師と個別に面談を行い、勤務の状況や研修の様子、今後のキャリアについて相談を受けました。

4月	16・17・20・23・24・27・30日
5月	11・12・14・18・21・22・25・27～29日
6月	1～4・9～11・16・18・22～24・26日
7月	8・15・21日

（勤務状況の内訳、2020年4月現在）

勤務状況 勤務年数	臨床研修	地域勤務	産婦人科	選択研修等	合計
1年目	10	3	1	5	19
2年目	4	5	-	5	14
3年目		1	-	-	1
計	14	9	1	10	34

4. 地域枠学生との個別面談・希望進路ヒアリング

地域枠学生と個別に面談し、学校生活の状況を聞いたり、大学生活・学業・将来に関するアドバイス等を行いました。また、卒業が間近になった6年生の面談では、現時点で想定する卒後9年間のキャリアプラン、将来希望する診療科等についてのヒアリングを行いました。

4月～	岡山大学・広島大学地域枠学生 (1～6年生)
11月	6日 広島大学地域枠学生 (6年生)
	13日 “
	19日 岡山大学地域枠学生 (6年生)
12月	3日 “
	10日 “

（在学生の内訳、2020年4月現在）

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
岡山大学	4	4	6	7	5	6	32
広島大学	1	4	0	1	2	2	10
計	5	8	6	8	7	8	42



Ⅲ. 地域の医療機関への地域卒卒業医師の配置

卒後 3・4 年目の地域卒卒業医師が地域勤務する（以下、「前期配置」という）病院と卒後概ね 7 年目の地域卒卒業医師が地域勤務する（以下、「後期配置」という）病院の候補を決め、対象となる医師とのマッチングを行いました。候補病院を決定するにあたり、次のような調査やデータの分析をしました。

①地域卒卒業医師の配置希望調査（対象：県内全 161 病院、調査期間：2020 年 4 月 10 日～5 月 18 日）

②地域医療に関する取組調査（対象：全 27 市町村、調査期間：2020 年 4 月 10 日～5 月 18 日）

③地域の医師不足の評価

（岡山県地域医療支援センターが、岡山県医療機能情報、厚生労働省の医師・薬剤師・歯科医師統計等のデータから得られる情報を元に分析）

2019 年の調査結果を基に、2020 年 4 月から地域卒卒業医師 4 人を新たに前期配置しました。2019 年 4 月から継続して勤務している 6 人と合わせて、10 人が地域で活躍しています。

令和 2 年度第 1 回岡山県医療対策協議会で、昨年に引き続き、県北の保健医療圏の医師の充足状況を勘案した上で、県南の保健医療圏にも可能な範囲で配置すること、加えて、2021 年 4 月から開始する後期配置については、病院の医師不足に重点を置くことや医師の専門性に配慮することでも了承されました。

2020 年の調査結果を基に、2021 年 4 月から配置される候補病院として前期 8 病院・後期 6 病院を選定しました。マッチングにより決定した前期 5 人・後期 3 人の医師と、産婦人科の専攻医 1 人が新たに勤務を開始し、継続する 3 人の医師と合わせて 12 人が地域勤務となる予定です。なお、「後期配置」は今年初めてマッチングを行いました。

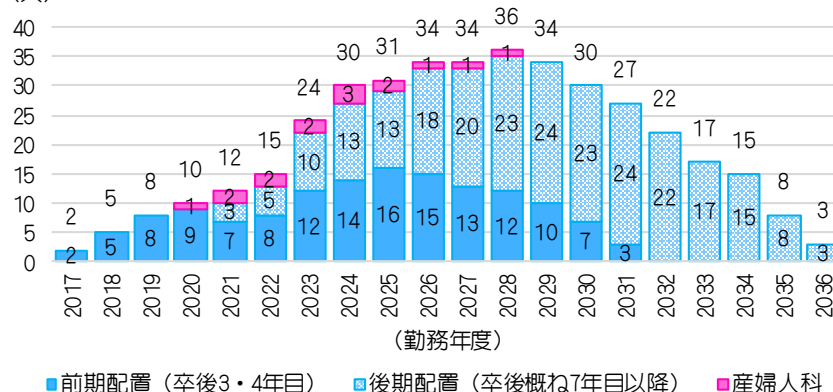
①～③の調査結果については、ホームページで報告しています。

<https://chiikiiryoukayama.wixsite.com/centerokayama/>

（地域卒卒業医師の勤務状況の内訳、2020 年 4 月現在）

地域勤務（勤務開始年月、勤務病院）	人数	選択研修（研修病院）	人数	臨床研修（基幹施設）	人数
2018 年 4 月 湯原温泉病院	10 人	岡山市立市民病院 岡山赤十字病院 岡山大学病院 倉敷中央病院	10 人	岡山済生会総合病院 岡山市立市民病院 岡山大学病院 津山中央病院 水島協同病院	14 人
2019 年 4 月 赤磐医師会病院					
笠岡第一病院					
金田病院					
高梁中央病院					
積善病院					
2020 年 4 月 中島病院					
成羽病院					
渡辺病院					
津山中央病院（産婦人科）					

（人） 地域卒卒業医師の地域勤務人数（2021年3月予測）



※ 2021 年度入学生までを反映しています。2022 年度以降の募集定員は未定です。

1. 前期配置候補病院の選定条件（2021年4月配置用）

(1) 地域医療希望卒業医（病院）の配置	①教育指導体制	教育担当者の有無、医学生・研修医の受入実績等、症例検討会の実施状況、若手の育つ環境が整えられているかどうか、学習環境の整備状況を評価	100 点満点で病院を評価する。
	②地域で果たしている役割	救急告示病院等の認定状況、地域の医療事情の把握・受療困難地域への対策実施状況を評価	
	③待遇と勤務環境	雇用形態や給与、他施設での研修日の設定、休暇・休業の取得可否、働き方改革への取組状況等を評価	
	④救急車の受入状況	年間の救急車受入実績（常勤換算医師 1 人あたり・1 病床当たり）を評価	
	⑤新専門医制度への取組状況	基本診療領域の基幹施設・連携施設・特別連携施設としての認定状況を評価	
	⑥経営状況	2 年間の医業利益率と医業収益（医師 1 人当たり）を評価	
(2) 地域医療に関する取組調査（市町村）		自治体が行っている医療人材確保や地域医療充実のための施策等を評価	保健医療圏域ごとの候補病院数決定の指標とする。
(3) 地域の医師不足		医師数、医師の高齢化の状況、病院へのアクセス状況等を加味したうえで地域の医師不足状況を評価	

2. 後期配置候補病院の選定条件（2021年4月配置用）

①患者数と日直・当直の状況	常勤医師1人あたりの1日の患者数、日直・当直の勤務状況を評価	100点満点で病院を評価する。
②救急車の受入状況	年間の救急車受入実績（常勤医師1人あたり・1病床当たり）を評価	
③教育指導体制（研鑽するための環境）	医師の年齢構成、他施設での研修、学会・勉強会への参加可否、学習環境の整備状況を評価、若手の育つ環境が整えられているかどうかの評価	
④医師の専門性とのマッチ状況	病院の希望する診療科と勤務候補の医師の専門性とのマッチ状況の評価	
⑤待遇と勤務環境	給与、休暇・休業の取得可否、保育制度の有無等を評価	
⑥地域貢献	後期配置を希望する理由、後期配置される医師へのアピール、地域貢献としてどのようなことが出来るかの評価	
⑦他薦	本調査に協力した医療機関から、後期配置をするにふさわしい施設との推薦がどれだけあったかを評価	



3. 勤務病院決定までの流れ（2020年1月～12月）

【2020年4月配置のための流れ】

2月	29日	知事が4病院を地域卒卒業医師の地域勤務病院に指定
4月		地域勤務開始 (中島病院・成羽病院・渡辺病院・津山中央病院(産婦人科)各1人)

【2021年4月配置のための流れ】

4月	10日～ 〃	①「地域卒卒業医師の配置希望調査(病院)」の実施(～5/18) ②「地域医療に関する取組調査(市町村)」の実施(～5/18)
6月	4日 ～15日	「令和2年度第1回岡山県医療対策協議会」(書面開催) ・昨年に引き続き、県北の保健医療圏の充足状況を勘案した上で、県南の保健医療圏にも可能な範囲で配置すること、加えて、2021年4月から開始する後期配置については、病院の医師不足に重点を置くことや医師の専門性に配慮することをも了承された。
8月	～26日	「後期配置」を希望する勤務病院の評価に係る点数の重み付けについての調査を実施 (対象：岡山県内の地域医療関係者)
9月	23日 ～25日	「後期配置」を希望する勤務病院の評価に係る点数の重み付け決定 ・8月に実施した地域医療関係者への調査結果を踏まえて決定した。 地域卒卒業医師の2021年度の勤務希望の確認 ・8人が地域勤務を希望し、マッチング対象となった。(前期配置5人・後期配置3人)
10月	7日 7日～ 11日	2021年4月から地域勤務を開始する地域卒卒業医師の配置候補病院決定 ・地域卒卒業医師の配置を希望する病院から、前期配置8病院、後期配置6病院を候補病院として選定した。 前期配置…高梁・新見(2)、真庭(3)、津山・英田(2)、県南(1) 後期配置…高梁・新見(1)、真庭(2)、津山・英田(2)、県南(1) マッチング開始 「地域卒卒業医師と候補病院の合同説明会」(WEB開催) ・前期配置の候補病院による病院紹介、地域勤務希望者の自己PR、質疑応答などを行った。 ・後期配置の候補病院による病院紹介、地域勤務希望者の自己PR、質疑応答などを行った。
12月	11日 24日	勤務希望病院・採用希望者の順位表提出期限 マッチング結果・産婦人科医配置の確認 ・前期配置…高梁中央病院(高梁市)・落合病院(真庭市)・金田病院(真庭市)・中島病院(津山市)・笠岡第一病院(笠岡市)各1人 ・後期配置…湯原温泉病院(真庭市)・鏡野病院(鏡野町)・井原市民病院(井原市)各1人 ・産婦人科については、津山中央病院(津山市)に専攻医1人を追加配置する。 各病院の採用手続きを経て、2021年2月末までに知事が地域勤務病院の指定を行う予定。

Ⅳ. 地域医療を支える未来の医療人の育成・確保支援

1. 地域枠学生・自治医科大学生合同オンラインセミナー

岡山大学・広島大学の地域枠学生、自治医科大学生が集まる合同セミナーは今年 8 回目を迎えるところでした。例年通り、地域の医療施設の見学や市町村の住民の健康維持のための取組体験、メディカルラリー等を通して、将来共に働くことになる仲間と学び、親睦を深めようと計画を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、宿泊を伴うイベントは中止となりました。

しかし、この状況でもできる事をということで、5 年生を中心準備を進め、オンラインで開催する運びとなりました。

概	要
日 程	2020 年 8 月 22 日（土）14:00～15:30
開催本部	岡山県地域医療支援センター岡山大学支部（MUSCAT CUBE）
参加学生	岡山大学医学部医学科 岡山県地域枠／広島県地域枠／兵庫県地域枠 広島大学医学部医学科 ふるさと枠 自治医科大学
スタッフ等	岡山県地域医療支援センター 〃 岡山大学支部 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 岡山県保健福祉部医療推進課
	56 人 10 人

プ	ロ	グ	ラ	ム
13:50	メインルーム集合			
14:00	開会あいさつ 忠田 正樹（岡山県地域医療支援センター センター長） 下野間 豊（岡山県 保健福祉部 医療推進課 課長）			
14:10	グループディスカッションについて説明（5 年生） （各グループのブレイクアウトルームへ移動）			
14:15	テーマ①についてグループ討論 （メインルームへ集合）			
14:35	テーマ①について発表 （各グループのブレイクアウトルームへ移動）			
14:45	テーマ②についてグループ討論 （メインルームへ集合）			
15:00	テーマ②について発表			
15:15	閉会あいさつ 佐藤 勝（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 教授） 小川 弘子（〃）			



Case B2

- ・あなたは医師 3 年目で市中病院に勤務している
 - ・誤嚥性肺炎の寛解と再発を繰り返している患者（89 歳）に「寿司を食べたい」と言われた
 - ・胃瘻を造設しており、普段は流動食を摂取している
 - ・流動食であれば経口摂取も可能
 - ・介護をしている娘は経口摂取に反対している
- どうする？



2. 地域枠ミーティング

1月	14日
7月	14日
10月	20日



岡山大学病院（MUSCAT CUBE）で、岡山大学医学部医学科の地域枠学生（県内枠・他県枠）が集まり、学生主導でレクリエーションや学習を行いました。学年を超えて、地域医療を目指す仲間が親睦を深める機会になりました。

3. 自治医科大学・岡山大学入試

2020 年度自治医科大学医学部入学試験・2020 年度岡山大学推薦入試Ⅱ（医学部医学科地域枠コース）と 2021 年度岡山大学学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科地域枠コース）の実施に協力しました。

※岡山大学は 2021 年度入学から入試区分が変わりました。

1月	28日	2020 年度自治医科大学医学部入学試験第一次試験（面接）
2月	1日	2020 年度岡山大学推薦入試Ⅱ（医学部医学科地域枠コース）（面接）
12月	5日	2021 年度岡山大学学校推薦型選抜Ⅱ（医学部医学科地域枠コース）（面接）

4. 岡山県医師養成確保奨学資金制度に関する説明会

3月 | 18日

岡山大学の医学部医学科地域枠コースの入学予定者に対して、保護者同席のもと地域枠制度の趣旨と医学生としての心構えなどについて説明しました。また、入学予定者の皆さんには、自己紹介や入学後の抱負などについて話していただきました。



5. 岡山県知事と地域枠学生・自治医科大学生との懇談会（中止）

例年、岡山大学の地域枠学生、広島大学のふるさと枠学生、自治医科大学生が県庁を訪れて知事と懇談を行っています。卒業生からは修学支援のお礼と地域医療への取り組みに向けた決意が表明され、知事から激励の言葉をいただくところですが、新型コロナウイルス感染症の流行により中止となりました。

3月 | 27日（開催予定中止）

6. 第7回 岡山県臨床研修連絡協議会

11月 | 25日

臨床研修の質の向上・環境の改善・臨床研修医の確保や岡山県の臨床研修病院に関わる情報の共有・発信を目的として、県内の臨床研修病院（15 施設）の研修責任者等が協議を行いました。

- 【協議内容】
- ・2021 年 4 月から臨床研修を開始する医学生等のマッチング結果
 - ・2020 年 3 月に2年間の臨床研修を修了する研修医へのアンケート（2020 年 1 月実施）の分析結果
 - ・2020 年 4 月から臨床研修を開始した研修医へのアンケート（2020 年 4 月実施）の分析結果
 - ・各病院の研修医確保のための取組状況の報告 等



V. 地域卒卒業医師の着任環境の整備に関する助言・支援

1. 地域の医療機関の訪問

2020年4月から、新たに地域卒卒業医師が勤務を開始する病院を訪問し、地域卒卒業医師がどのように働くのか、指導体制・バックアップ体制がどのようなになっているのかについてお聞きしました。また、地域の医療の現状や地域における病院の役割・将来像、救急車の受入状況等についての意見交換も行いました。

2月	10日	特定医療法人和風会 中島病院（津山市）
3月	9日	医療法人思誠会 渡辺病院（新見市）



中島病院



渡辺病院



VI. 岡山大学病院ダイバーシティ推進センター (医療人キャリアセンター MUSCAT) との協力

1. シミュレーショントレーニング in 新見

1月	11日	新見市立新見保育所 (対象：新見市内で勤務する保育教諭)
9月	12日	新見公立大学 (対象：新見市内で勤務する介護施設職員)

保育教諭のための急変対応トレーニング

保育園・幼稚園・こども園等で起こりうる事故を想定し、急変時の対応訓練を行う事で、保育教諭のスキルアップを目指しました。

患者の急変対応トレーニング

施設で利用者に急変が起きた場合を想定し、医師・看護師の指導の下に対応・連絡の手順を確認しました。



2. 第11回 岡山MUSCATフォーラム『天職と向き合う』

10月 31日 地域医療人材育成センターおかやま (MUSCAT CUBE)

加藤庸子先生（藤田医科大学ばんだね病院 脳神経外科 教授／脳血管ストロークセンター センター長）を講師にお迎えし、オンラインで開催しました。

世界を舞台に活躍される先生から、プロの医師としての生き方・姿勢を学べる貴重な機会となりました。



VII. 連携協力・情報発信

1. 岡山県医療対策協議会への出席

医療法及び医師法の一部を改正する法律（平成 30 年法律第 79 号）が平成 30 年 7 月 25 日に公布、一部施行されたことに伴い、岡山県地域医療支援センター運営委員会は平成 30 年度で廃止され、令和元年度から岡山県医療対策協議会に統合されました。

2 月	14 日	第 24 回岡山県医療対策協議会（令和元年度第 3 回） 議題（1）専門医制度整備指針の改訂およびサブスペシャリティ領域専門研修細則（案）への意見について （2）令和 3 年度臨床研修病院の募集定員について その他 2020 年度専攻医一次登録における領域別採用状況について 専攻医シーリングに係る国への意見について
6 月	4 日 ～ 15 日	第 25 回岡山県医療対策協議会（令和 2 年度第 1 回、書面開催） 議題（1）岡山県地域医療支援センターの運営について ① 令和元年度事業実績及び令和 2 年度事業計画（案） ② 令和 3 年度地域卒卒業医師の配置方針（案） （2）岡山県へき地医療支援機構の運営について（令和元年度事業実績及び令和 2 年度事業計画（案）） （3）2021 年度専攻医の募集におけるシーリング案について （4）令和 3 年度臨床研修病院の募集定員の決定について（報告）
11 月	5 日 ～ 12 日	第 26 回岡山県医療対策協議会（令和 2 年度第 2 回、書面開催） 議題（1）2021 年度専攻医募集シーリングに係る県から国への意見について（報告） （2）2021 年度専攻医募集においてシーリング枠外とする地域枠・自治医科大学卒業医師について

2. シンポジウムへの参加

地域枠学生・地域枠卒業医師のキャリア形成や地域枠制度の在り方を考えるシンポジウムに参加し、情報の収集に努めました。

2 月	14 日	第 12 回 全国シンポジウム「地域推薦枠医学生への・卒前・卒後教育をどうするか？」 ～地域枠制度がもたらしたもの～ 主催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野／離島へき地医療人材育成センター
-----	------	---

3. 岡山大学 教養教育科目『生活の中の医療』（1 年生）

10 月	1・8・15・22 日
11 月	5・12・26 日



4. ホームページ・Facebook による情報発信

岡山県地域医療支援センターの活動状況の報告や分析資料の掲載を随時行っています。

「ホームページ」 <https://chiikiiryokayama.wixsite.com/centerokayama>

「facebook」 <https://www.facebook.com/chiikiiryokayama33>

5. 「第10回 中四国地域医療フォーラム」の開催

2020年は岡山での開催となり、岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座と岡山県地域医療支援センター岡山大学支部を中心に企画・運営を行いました。

1日目の大学関係者のプレ集会では、地域医療に関わる講座の今後とその課題についての報告と全体討論を行いました。行政関係者のプレ集会では、予備調査を実施した各県の地域枠制度の取組状況について、討論しました。

2日目の本会では、各県が地域枠学生（医師）にどのような支援を行っているかについて報告しました。また、実際に地域で勤務している地域枠医師が近況を報告しました。地域医療を守りながら、医師のより良い働き方や成長が望める制度になるよう、情報の共有・討論を行いました。

概 要	
日 程	2020年2月7日（金）（プレ集会）14：00～17：00 8日（土）（本会）9：00～15：00
開催場所	アークホテル岡山
主 催	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 岡山県 保健福祉部 医療推進課 岡山県地域医療支援センター
協 力	岡山大学病院 岡山大学 医学部 全国地域医療教育協議会
目 的	地域枠制度を適切に運用していくために、近隣県の取組を共有し、建設的な意見交換を行う。
テ ー マ	「地域枠卒業医師をどう支援するか」
参 加 者	中四国各県の地域医療に関わる大学関係者、県行政担当者、地域医療支援センター職員、公立病院指導医、地域枠卒業医師、地域枠学生 他



「第10回 中四国地域医療フォーラム」（本会）参加者



ワークショップの様子



地域枠学生グループの発表

プ ロ グ ラ ム

1 目 目 (プレ 集会)	① 大学 関係 者	13 : 30	受付
		14 : 00 ~	<p>開会あいさつ 司会:岩瀬 敏秀(岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部 専任医師) 片岡 仁美(岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 教授)</p> <p>「地域医療関係講座の今後と課題」 座長:佐藤 勝 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 教授)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要説明 片岡 仁美 教授 ・各大学からの報告(鳥取大学、島根大学、広島大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学、高知大学、岡山大学) ・全体討論
		16 : 40 ~	<p>次回開催地についてのお知らせ 閉会あいさつ 佐藤 勝 教授</p>
	② 行政 関係 者	13 : 30	受付
		14 : 00 ~	<p>開会あいさつ 司会:斎藤 雅史(岡山県 保健福祉部 医療推進課 総括参事) 下野間 豊(岡山県 保健福祉部 医療推進課 課長)</p> <p>情報交換会(協議事項提案県からの説明、意見交換) 鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、岡山県</p>
		16 : 40 ~	<p>次回開催地についてのお知らせ 閉会</p>
2 目 目 (本会)		8 : 30	受付
		9 : 00 ~	<p>開会あいさつ 司会:岩瀬 敏秀 専任医師 金澤 右 (岡山大学病院長) 浅沼 幹人(岡山大学医学部長) 中谷祐貴子(岡山県保健福祉部長)</p> <p>テーマ「地域卒卒業医師をどう支援するか」 座長:佐藤 勝 教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要説明 片岡 仁美 教授 ・各大学からの報告(鳥取大学、島根大学、広島大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、岡山大学) <p>地域卒卒業医師からの近況報告「ライフイベントとの両立について」 脇地 一生(岡山県、落合病院 内科) 向田 千夏(島根県、加藤病院 総合内科)</p> <p>ワークショップ 司会:佐藤 勝 教授 テーマ ①「ライフイベントの両立について」 ②「地域卒学生(医師)がどのようにして実力を身につけるか」 ③「地域医療を守るために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、グループ討論 ・発表、全体討論 <p>次回開催者ごあいさつ</p>
		16 : 40 ~	<p>閉会あいさつ 佐藤 勝 教授</p>

VIII. 定例会の開催

1 . 定例会の開催

毎週月曜日、岡山県医療推進課において、岡山県地域医療支援センターの運営について協議を行いました。新型コロナウイルスの感染状況に応じて WEB 会議システムを利用するなど、業務が滞らないようにしました。



2020年の主な行事など

2月	7日 「第10回中四国地域医療フォーラム」の開催（～2/8）
	14日 「第24回岡山県医療対策協議会」（令和元年度第3回）への出席
	29日 知事が4病院を地域卒卒業医師の地域勤務病院に指定
3月	18日 岡山県医師養成確保奨学資金制度に関する説明会
	27日 （中止）岡山県知事と地域卒学生・自治医科大学生との懇談会
	31日 糸島達也センター長 退任
4月	1日 忠田正樹センター長 就任
	〃 地域卒卒業医師の地域勤務開始（前期配置新規4人）
	〃 地域卒卒業医師の臨床研修開始（10人）
	10日 「地域卒卒業医師の配置希望調査」（病院）の実施（～5/18）
	〃 「地域医療に関する取組調査」（市町村）の実施（～5/18）
6月	4日 「第25回岡山県医療対策協議会」（令和2年度第1回、書面開催、～6/15）
8月	2日 （中止）「第8回地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」
	22日 「地域卒学生・自治医科大学生合同オンラインセミナー」の開催
9月	15日 「地域医療を担う医師を地域で育てるために・地域卒卒業医師の勤務病院の選定方法について」のWEB配信
10月	7日 地域卒卒業医師と候補病院のマッチング開始
	11日 「地域卒卒業医師と候補病院の合同説明会」のWEB開催
11月	5日 「第26回岡山県医療対策協議会」（令和2年度第2回、書面開催、～6/12）
	25日 「第7回岡山県臨床研修連絡協議会」の開催
12月	24日 2021年4月からの地域勤務マッチング結果・産婦人科医配置の確認

年次報告書

2020 年 1 月～12 月

＜発行 2021 年 3 月＞

岡山県地域医療支援センター

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下 2-4-6

岡山県保健福祉部医療推進課内

TEL : 086-226-7381 / FAX : 086-224-2313

E-MAIL : chiikiiryu-center@pref.okayama.lg.jp

<https://chiikiiryuokayama.wixsite.com/centerokayama>

<https://www.facebook.com/chiikiiryu33>

岡山県地域医療支援センター 岡山大学支部

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学医学部 MUSCAT CUBE 2 階

TEL : 086-235-6833 / FAX : 086-235-6834

Center for medical cooperation, human resources placement and career promotion of Okayama Prefecture



(ホームページ)



(facebook)